

令和5年度

学校案内

好學愛知



鹿児島県立鶴丸高等学校



鶴丸高校は2023年に創立129年を迎え、
新たな歴史を^{きざ}彫みはじめました。



校風

旧制鹿児島一中と旧制鹿児島一高女の流れを汲む本校は、昭和24年に男女共学の鶴丸高等学校として発足しました。鹿児島県で最も古い歴史をもつ県立学校です。

校名の「鶴丸」は、旧藩主島津氏の居城「鶴丸城」に由来します。平和と穏健を象徴し、藩学の伝統を受け継ぐ名として親しまれています。

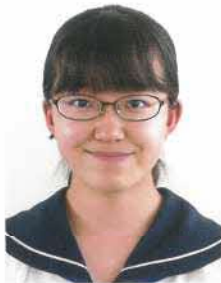
校章は丸い地球に大きくはばたく若鶴を配し、若人の夢と理想、世界に雄飛せんとする意気を表しています。

校是

校訓の「好學愛知」「自律敬愛」「質実剛健」とともに鶴丸生がめざす「For Others」の精神。中庭にあるFor Othersの碑が、今日も鶴丸生の日を見つめています。



「夢実現への学び」



片野田 百合亜
(令和5年4月入学)
(鹿大附属中学校出身)

私はこの4月に鶴丸高等学校に入学することができました。良い友人や先生方に恵まれ、日々充実した高校生活を送っています。鶴丸高校は、頑張りたい人が本気で頑張れる学校です。素晴らしい先生方による深い学びのある授業はもちろん、朝早く登校して黙々と勉学に励む友人や先輩方の姿に、毎日良い刺激をもらいます。様々な高い夢や目標をもって努力する友人に囲まれ、互いに高めあうことができ、本当に良い環境です。

また、鶴丸生は勉強だけでなく部活動や学校行事にも全力を注いでいます。仲間と協力しながら一つのことを創り上げることで、鶴丸高校が掲げる「For Others」の精神を育み、世界が必要とする人材に近づくことができます。このように、鶴丸高校では質の高い学習以外にも様々な力を身につけることができます。私自身も3年間で様々なことを学び、学習面でも人間的にも成長したいです。

果てしない知の世界へ

静寂な校内に、鶴丸高校の命「授業」の音が響きます。それは、「生徒がつくる授業」の声。休み時間や放課後にも、生徒同士の議論の声が聞こえてきます。職員室の前には質問をする生徒の列。渡り廊下には自習に励む生徒の姿。個別ブースが設けられた悠学ルームや悠学館(図書室)にも、果てしない知の世界に挑む生徒たちの姿が途絶えることはありません。



短期海外研修(平成29年度より実施)

世界をリードする人材の輩出は、本校に与えられた使命です。鶴丸高校では、同窓会やPTAの協力を得て、ニューヨークでの短期海外研修を行っています。世界の一地方ではなく、世界の縮図とも言えるニューヨークを訪ね、現地の高校(St.John's prepatory school)での授業参加、国連見学、コロンビア大学の見学、OBの協力による職場見学「GO鶴セミナーin NY」(Google ニューヨーク支社見学)など、魅力いっぱいの研修でした。令和元年度～3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しましたが、令和4年度は、国内の外国人留学生を招いた語学研修「エンパワーメント・プログラム」を3泊4日で実施しました。令和5年度は短期海外研修を再び実施できるよう検討しています。



参加した生徒の感想



東京大学工学部
建築学科4年
樺山 菜々
(吉野中学校出身)

「君は将来何になるの?」という問いを、周囲から受け続けた2週間でした。自己主張をあまり求めない日本との文化の違いを実感すると共に、答えに詰まってしまう自分に衝撃を受けました。

「私」とは何者で、どういう存在でありたいのか?卒業後の人生を真剣に考えるようになった転機として、研修での経験は今でも私の中で大きな意味を持ち続けています。



鹿児島大学医学部
医学科4年生
帖佐 美佑
(鹿大附属中学校出身)

世界の中心をこの目でみたいという好奇心でニューヨークへ飛び込みました。当時、高校1年生の未熟で無知な私にとって、刺激的で濃密な10日間でした。しかし、新たなものに触れるだけではなく、自分と向き合い、自分の生き方について改めて考える時間でもありました。この研修への参加は、私にとって人生の新たなスタートであったのだと日々実感しています。

進路概況

■ 進路概況

生徒自らが思考し主体的に学ぶ授業を中心に、鶴丸高校の学習指導は行われています。多くの生徒が自らの適性について深く考え、志望を設定し、それぞれの夢を実現するために3年間を過ごしています。本年度は、東京大学6名、京都大学9名、九州大学18名のほか、全国の国公立大学・私立大学に多数の合格しました。

教科の学習以外にも、進路講演会や文化講演会、合格体験を聞く会、実社会で活躍する本校の卒業生から直接お話を聴く「GO鶴セミナー」など、自分自身を見つめ、社会をリードし社会に貢献する人材として成長する機会が多数設けられています。



■ 令和5年度入試の主要大学合格者数

大学名	合格者数
筑波大学	6
東京大学	6
東京工業大学	3
東京外国語大学	3
お茶の水女子大学	3
一橋大学	5
京都大学	9
大阪大学	7
神戸大学	1
九州大学	18
熊本大学	17
鹿児島大学	81
早稲田大学	18
慶應義塾大学	11
東京理科大	8
中央大学	11
明治大学	16
同志社大学	26
立命館大学	31
大学種別	合格者数
国立大学	205
公立大学	23
私立大学	316
国公立 医学科	38
その他(海上保安大/防衛医科大等)	9

卒業生のことば



京都大学総合人間学部1年
萩原 のぞみ
(東谷山中学校出身)

鶴丸高校の第一の魅力は、やはり学習に取り組むための素晴らしい環境が整えられているところです。白習室や図書館は休日にも開いていますし、そして何より共に勉学に真摯に取り組む仲間や、それを全力で支えてくれる先生方がいます。加えて、鶴丸高校では「文武一道」の精神のもと、部活動などにも一生懸命に取り組む学生が多くいます。鹿児島県下において、これだけ高い志をもつ個性豊かな仲間たちと日々研鑽を詰める場所はなかなかありません。

今現在、受験勉強に取り組む皆さんにとっては「勉強」というものはあくまで進学のための手段で、楽しくないものかもしれません。確かに勉強は苦しくもありますが、一方でそれまで見えなかった景色を見せてくれるものであり、この上なく楽しいものでもあります。「鶴丸は勉強するところである」という言葉に怯える必要はありません。ぜひ皆さんにも鶴丸高校で勉強の面白さを噛みしめてほしいと思います。



3年
岩倉 康大
バドミントン部
(鹿児島修学院中学校出身)

鶴丸高校では『文武一道』のスローガンのもとで、多くの生徒が勉学はもちろん、部活動や校外活動にも精力的に取り組んでいます。短い練習時間の中で練習方法を工夫し、仲間と切磋琢磨して高め合う姿勢は、勉強や社会生活にも通じるところがあると思います。勉強にも部活にも全力になれる鶴丸で、充実した3年間を過ごしてみませんか。

鶴丸野球部で甲子園に出るという目標を掲げて入学しました。限られた時間と環境の中で効率的で自主性が重んじられた練習を重ね、昨年鹿児島県選抜チームの主将に選出していただきました。鶴丸高校は勉学に励みながら様々な分野で活躍する仲間、それを応援して下さる先生方がいらっしやいます。切磋琢磨し、自分を磨くには恵まれた学校です。

3年
別枝 昊祐
野球部
(武中学校出身)



3年
原 初寧
書道部
(吉野中学校出身)

鶴丸高校は、勉強はもちろん部活動や学校行事を通して多くのことを学べる学校です。お互いを尊重し合い何事にも全力で取り組める環境があるおかげで、大好きな書道が続け、全国大会に出場することが出来ました。多彩で優しい仲間達、熱心に指導して下さいる先生方、心から尊敬できる人にたくさん出会え感謝しています。毎日が感動の連続です。

中学生の時から入部を決意していた放送部。様々な行事に「放送」という立場から関わることで自分の視野が広がり、新たな知見を得ることができました。勉強や部活動はもちろんのこと、幅広い分野で活躍している友人たちと切磋琢磨し、ともに勉学に励むことのできる鶴丸高校は、「かへらざる三年」をかけがえのない時間にしてくれる場所です。

3年
石原 海羽
放送部
(明和中学校出身)



3年
氏田 健太
山岳部
(川内中央中学校出身)

物珍しさから入部した山岳部。インターハイ出場を目標に、仲間とともに日々練習に励んでいます。重い荷物を背負っての登山は過酷ではありますが、その果てにある、皆で見る頂上の景色は、ソロでの登山とは一味違います。このように、鶴丸高校では勉強だけではなく、部活動を通して、多様な経験をすることができます。

部活動紹介

■文化系部活動

文芸・社会研究・物理・化学・生物・地学・ESS・美術・書道・音楽・吹奏楽・放送・演劇・写真・百人一首・茶道・イラスト・囲碁・将棋

■体育系部活動

陸上・バスケットボール・卓球・水泳・バレーボール・ソフトテニス・テニス・ラグビー・剣道・柔道・空手道・野球・弓道・ダンス・ボート・バドミントン・山岳・ハンドボール・サッカー

■同好会

数学研究

部活動実績

■全国大会出場(令和4年度)

(文化系)

文芸部

第46回全国高等学校総合文化祭

科学部

第46回全国高等学校総合文化祭(自然科学部門)

ESS

第8回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会
第12回日本高校生パースナラメンタリーディベート連盟杯
(HPDU Competition 2022)

美術部

第72回鹿児島県高校美術展

書道部

第46回全国高等学校総合文化祭

放送部

第68回NHK杯全国高校放送コンテスト

百人一首部

第44回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
第8回白瀧杯女流かるた高校選手権大会
第46回全国高等学校総合文化祭
第18回高等学校かるたグランプリ

囲碁部

第16回全国高等学校囲碁選抜大会大阪大会

将棋部

第58回全国高等学校将棋選手権大会

(体育系)

少林寺拳法

第49回全国高等学校少林寺拳法大会

■九州大会出場(令和4年度)

(体育系)

陸上部、空手部、水泳部、バドミントン部、山岳部、少林寺拳法

(文化系)

ESS部、音楽部、百人一首部、囲碁部



主な学校行事

4月

- 入学式 (写真①)
- 1年生オリエンテーション
学習内容や学校生活についてきめ細かいオリエンテーションを実施しています。国語・数学・英語を中心に、予習・授業・復習のサイクルを中心とした高校での学習への取り組み方を学びます。
- 創立記念式典・記念講演会
- 甲南鶴丸スポーツ交歓会(甲鶴戦) (写真②③④)

甲南高校との交流戦は、17の競技で熱戦が繰り広げられます。競技に引けを取らないほど、応援も盛り上がり、特に全校生徒によるエール交換が圧巻です。

- 一日遠足
- 定期教育相談

5月

- 生徒会長選挙・前期生徒総会
- 集団読書 (写真⑤)

課題図書に関連して、各ホームルームで独自に設定したテーマに沿って各クラスで討論します。一冊の本を中心に、人生や社会、自分自身に対する深い洞察力をつけていきます。

6月

- 前期中間考査
- クラスマッチ
- 交通安全教室

7月

- 2年生修学旅行・GO鶴セミナー

例年2泊3日の行程、関東方面で実施していま

す。自主研修や学級ごとの探索活動など、生徒の自主性を育む活動の他、本校修学旅行の目玉であるGO鶴セミナーでは、OB・OGの企業・事業所を訪問し、様々な分野の最前線で活躍する先輩方に直接お話を伺いながら、「世界の最先端」を体感し、働くことの意義を学習します。

- 三者面談

夏季休業中を中心に実施します。生徒自身の自主性を尊重しながら学校と家庭との連絡を密にして、きめ細かい学習指導・生徒指導を行っています。

8月

- 中学生一日体験入学

学校生活に関する説明の他、部活動見学を実施しています。

- 定期演奏会 (写真⑥)

吹奏楽部・音楽部の演奏の他、伝統的なプログラムである現役生と卒業生との大合奏・大合唱

「ハレルヤ」も見物です。

- 前期末考査

9月

- 体育祭 (写真⑦⑧)

1・2年生によるマスゲーム、3年生による仮装&ダンス、受験への決意表明「ドリーム」は伝統種目です。

- 1年GO鶴セミナー

多くの卒業生のご協力の下、幅広いジャンルの職種のOB・OGに来校いただき、「白熱教室」が展開されます。

動の前期

多くの学校行事の中で
学びへの意欲、自分の可能性を模索します。



10月

●文化祭(写真⑨⑩)

学級ごとのユニークな展示・舞台発表はもとより、文化系部活動・同好会の活動の成果が存分に発揮され、参加型実験パフォーマンスや表現系部活動の作品集も好評です。

●三年生を激励する会(三激会)(写真⑪)

受験に日々がんばる先輩を励ます趣旨で、全学年で芸術鑑賞会を実施しています。「鶴丸は勉強するところである」を伝統として受け継ぐ、名物行事でもあります。

●生徒会長選挙・後期生徒総会

11月

●定期教育相談

●校内ロードレース大会(写真⑫)

桜島溶岩グラウンド周辺を、男子は10km、女子は5kmの距離で走ります。日頃鍛えた体と困難に負けない精神力で自分自身と戦います。

●集団読書

12月

●文化講演会

卒業30年を記念した先輩からの贈り物であるこの講演会は、例年、社会の第一線で活躍する方をお招きして実施されます。

●後期中間考査

●後期クラスマッチ

1月

●初日を拝む会

3年生が元旦に学校に集まり、来る入試へ向けての決意を初日に誓う伝統行事です。例年同窓会からいただく合格饅頭も名物のひとつです。

●定期教育相談

●大学入学共通テスト

2月

●校内弁論大会

各学年審査を勝ち抜いた弁士が自らの主張を訴えます。日常の素朴な疑問から世界情勢まで、すべての弁論が生徒の心を打ち、自分を振り返る良い機会となっています。

●学年末考査

●国公立大学個別入学試験(前期)

3月

●卒業式

●国公立大学個別入学試験(中・後期)

●合格体験を聞く会(写真⑬)

見事合格を勝ち取った卒業生数名に来てもらい、合格体験を聞く中で受験生としての覚悟を固める良い機会としています。

静の後期
知性と教養豊かな
鶴丸生へと成長します。



TSURUMARU
SENIOR H.S.

鹿児島県立鶴丸高等学校



〒890-8502
鹿児島県鹿児島市薬師2丁目1-1
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433